

# 技術ソリューション室の発足について

一般財団法人 発電設備技術検査協会  
技術ソリューション室  
03-5404-3876  
e-sols@japeic.or.jp

近年、電力事業を取り巻く状況の変化に伴い、自主的な保守・管理高度化の要求や設備面では輸出入品活用の拡大等、多様な課題に直面する事例が増えてきています。

そこで当協会は、溶接・非破壊検査に関するエンジニアリングの経験をもとに、溶接品質をはじめとする、事業者やメーカーの方々が直面する課題について最適なソリューションを提供するため、2025年4月1日より「技術ソリューション室」を発足しました。

## ●具体的には、以下のサービスを中心に業務を展開します。

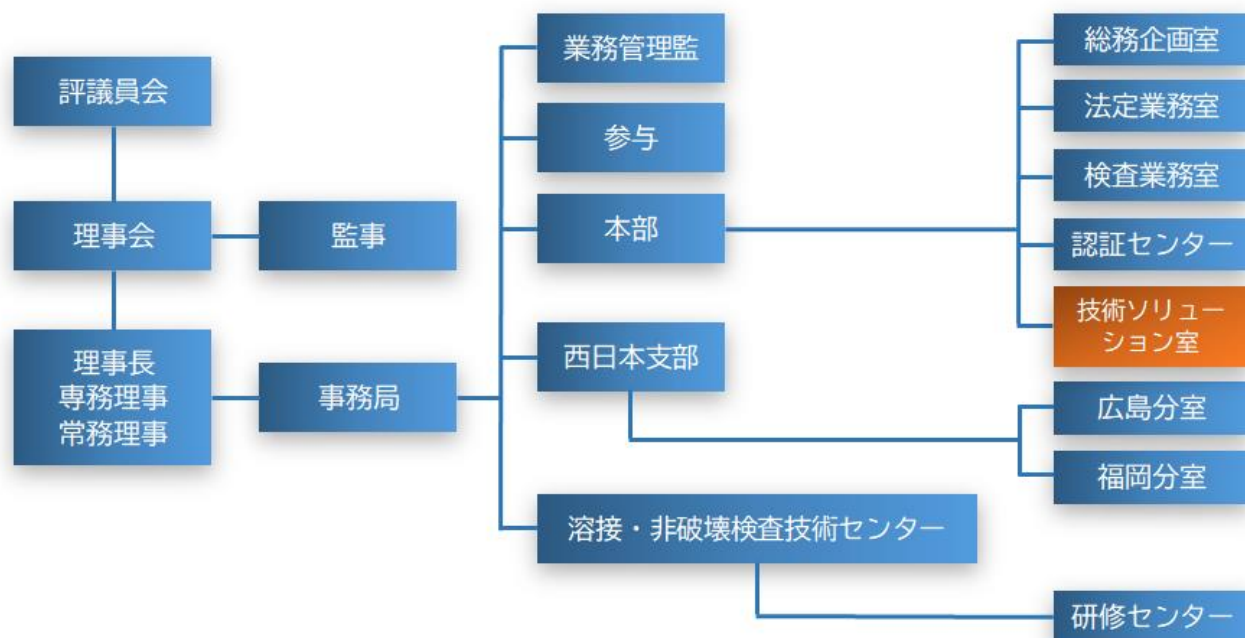
- I. 事業者・メーカーが行う自主保安のうち溶接管理方法・検査体制についての診断（溶接を中心としつつも検査体制全般）、技術的な Q&A への対応、人材育成・研修支援
- II. AWS-CWI\*が要求される検査の実施等、輸出入品溶接検査や事業者・メーカーが自ら行う検査に対する支援  
\*AWS Certified Welding Inspector: 米国溶接協会が認証する溶接検査員
- III. 中立的な第三者の立場からの技術的妥当性の評価・立会の実施、新技術の導入に際しての技術評価、内外の溶接・非破壊試験関連の規格基準策定活動への参画

## 技術ソリューション室の活動スコープ

	I 品質管理 <u>【自主保安の向上】</u>	II 輸出入品 <u>【海外規格へ支援】</u>	III 規格・技術基盤 <u>【技術基盤知識の向上ソリューション提供】</u>
①検査立会		●AWS-CWI が要求される検査 ●第三者立会（火力輸入品）	●第三者立会（NDT 妥当性確認等）
②第三者評価	● <b>溶接管理体制の健全性診断</b> 溶検以外に協会事業のシナジー効果を発揮し、現場での管理体制に関する診断業務を実施		●確性試験 ●第三者評価 ●保全技量認定制度運営
③調査 (規格基準関連)			●溶接専門部会の運営 ●溶接規格整備 ●民間規格等の策定委員会への参画 ●最新知見の情報収集
④支援	● <b>プロセスやシステム改善のための一般的な情報を提供する研修</b> AWS や ASME BPV の品質管理に関する規定内容紹介（ウェルディングコーディネーションとセット）	● <b>ウェルディングコーディネーション</b> 海外施工工場との溶接に係る技術的検討の架け橋、溶接作業工程の「監視・測定」支援 ●「火技解釈」英語版の作成	● <b>溶接・NDT に関する技術支援</b> 国際的な専門資格や経験を有する要員による技術的サポート ●規格に関する Q&A

## ●新組織の発足

従前の検査業務室 技術グループ及び規格基準室を統合し、事業展開を強化。また、「溶接・非破壊検査技術センター」とも連携し、工学的分析に基づいた解決策やサポートを提供します。



発電技検 新組織体制